

軽自動車「Nシリーズ」を生産するホンダの鈴鹿製作所（三重県鈴鹿市）。その一角にあるエンジン部品のある工程が最近大幅な省エネルギー化を果たした。シリンドーヘッドの金型をコーティング処理する際に使っていた電気炉を、IH（電磁誘導加熱）に置き換えたためだ。

## ホンダ

コーティング処理は金型を保護するのに不可欠な工程。金型にパインダー水溶液を吹きつけた後に、電気炉に入れて180度〜230度Cで焼き付ける。1回では均質な膜を張れない。炉から出して、また吹きつけて、炉に入れるという作業を4〜5回繰り返す必要がある。エネルギーロスが課題だった。

2013年、「中部

# モのづくり現場

～エレクトロヒート技術最前線～ ⑥

## 高温対応型IH装置



電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

# 作業環境大幅に改善

電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

電力が開いた技術展で目にしたIHに着目した（同製作所エンジン工場鑄造2モジュール）。

【事業所概要】鈴鹿製作所▽三重県鈴鹿市平田町1907番地、059・378・1212▽主要生産品目「軽自動車「Nシリーズ」、小型車「フィット」など▽生産実績（15年度）▽36万4000台▽年間エネルギー消費量（同）▽6万5246キロワット時▽年間CO2排出量（同）▽12万8690トン

原油換算にしてエネルギー消費を6割カット（編集委員・池田勝